



元 完  
12  
五 1

貴  
八三  
4387  
1



序



今もむの—京姑  
田舎者所<sup>ひ</sup>知<sup>る</sup>る<sup>事</sup>示  
一<sup>つ</sup>洞<sup>と</sup>人<sup>の</sup>心<sup>の</sup>こ<sup>も</sup>を<sup>か</sup>え  
抑<sup>へ</sup>て<sup>は</sup>信<sup>じ</sup>る<sup>が</sup>そ<sup>の</sup>所<sup>に</sup>  
み<sup>ま</sup>未<sup>ま</sup>父<sup>の</sup>母<sup>の</sup>以<sup>て</sup>し<sup>る</sup>所<sup>に</sup>  
古<sup>の</sup>女<sup>を</sup>—<sup>の</sup>如<sup>く</sup>性<sup>を</sup>子<sup>に</sup>  
乃<sup>は</sup>行<sup>く</sup>是<sup>の</sup>—<sup>の</sup>事<sup>を</sup>  
又<sup>も</sup>公<sup>に</sup>し<sup>て</sup>は<sup>け</sup>の<sup>事</sup>  
—<sup>の</sup>所<sup>に</sup>知<sup>る</sup>事<sup>を</sup>

















邨山  
菴書

笑かちてゐる世の一  
身一川波つらきて兄弟の涙  
荒る川の淵にたなほ味はあぢ  
まひと人の盛衰はこれよりな  
すまのぞう。今はいや一酒の  
玉の大守は勤仕一七武成を  
よせ一人まうける。おれ  
うけ今も人も世も出まらざん  
車もおろしる。ぬんあてり乃  
堀川のたなほれいぢれおれ  
時をふ紅をさすると。よみあひ  
祝聖の下の系のこるおれのゆ  
りとたすりよ。おれ一にいけ  
と人よ冠ちかひてびり。れこと  
ともおれいぢ一人のたのぞうづく  
ちりよ一た時の半。おれすいよ



一八



本陣へ参りみられたは言はれぬ  
より人家をたれ流し遊んでい  
ほより本陣に親王と物下物玉おた  
の卵れ村くおやを流し子とりし  
まひし物取とまらざれば文親堂  
ら人家ありすしねくわ流れ  
よるに兄弟れ娘めらう女主人も  
あういざに命いたさうらこれら  
家も田地も残りこねくまねる人も  
いばちゆきんあまに時目より社  
乞とぬより所字書もあらば  
せめてい子たれはと悲おこ  
よとぬり海に生れ子とり  
とらりあした事なれい一西  
おらほじぬを流しむらりあ  
さぬり悲しみのりぬらさぬ

おのりすとも推ありとも言はれぬ  
ねる人の氣よ入やうにうてがあ  
いづらきておろくよし人あ  
あやまうんあはば二どんま  
いぞこれくぬられぬも  
推さしひらあいぞこれありさ  
けぬるよい子がほくすこれか  
とねては存す錢の入申で  
あしあころつつけ入し  
紫菜すのでぬいぞと  
その娘よいそ指を  
ころつよあろり人のま  
酒落老のまげよなりたる  
云人のまもいりして  
とぬませたる男は  
あしあいひたかん

くもふいさるやうささしんあ  
ともんくさど龍の尻をえりあ  
あしも君帯に川さりと白く  
肥を袖くく次たしたてとも  
あつたれさい銀もとともむ  
福よ十病整ひてそれくは  
相とあへとも一時二人また高  
分とまきやどののあてりなく  
よせうりさめくはさ出さあ  
にさし妹とせも今年さうり仕  
へたれは是もとねり角もさ  
の男もさ。北四又の厚髪おとさ  
か笑のあめん中幅のぞく帯後  
がそれ大まきばく。是は中ねさ  
の帯履をてはくくとさり。婦  
れをされて相もさすにはまては

あむごうを病さるのうれと。小  
腋のうめあふいと娘のふは  
ひそそんあれ悪もゆる系れ  
とみ久海りる  
才二立横はあも御成系  
なも年もかより世のあらひる  
るよあひりやちりちりあは  
とらふを築ばりいふも今  
もと衆の世もかよひも。れ  
らんいまもさ回なれども年と  
ふりんおとすびてははまら  
ゆ人をほくく。かんもいれ  
てすどりすすはねる人よら  
うらまうけても。たれて後にお  
なるに。うき中。はあいてあ  
あごさみて。あつ。和別当













の藤原のちからをのこすはけりてあらん  
勢の中ののひかりしむらへん入と  
あまのいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
母はねいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
いづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
らんとあはれをいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
らんとあはれをいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
たれやうらなと。うらなとあはれをいづみの  
るはやうらなとあはれをいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
すそとあはれをいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
はらとあはれをいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
がらとあはれをいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
やりとあはれをいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
の足音するはねいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
てはねいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
らんとあはれをいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの

ひてあはれをいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
まのいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
と人くはねいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
らんがはねいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
わらとあはれをいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
解らとあはれをいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
てらとあはれをいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
りう帯とあはれをいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
とをぞあはれをいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
わらとあはれをいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
あはれをいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
とらとあはれをいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
終らとあはれをいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
らとあはれをいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
きてあはれをいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの  
めらとあはれをいづみのいづみのいづみのいづみのいづみの





